

クロサワが行く!

あなたの推しを教えてください。

クロサワ(以下、ク)【大中さん、少しほっそりされました? 大中さん(以下、大)【そうなんです。今、5日後のキックボクシングの試合に向けて減量中で……。ク【わあもうすぐですね! どんな方法で減量を? 大【メインは食事制限です。1日1000キロカロリー以内に抑えて、あとは毎日2時間ほどトレーニングを行っています。あとは水抜きも。ク【さすが! ストイックですね。改めてキックボクシングとの出会いを教えてください。大【2017年から趣味として始めて、夢中になって練習していたらプロの団体から声をかけてもらいました。初めて試合に出てKO勝ちした時の高揚感は今でも忘れられません! ク【介護職とプロキックボクサーの二刀流は凄すぎます! 今後の目標はありますか? 大【目標は、所属している団体でベルトをとって、施設に持ち帰ることです! いつも応援していただいているお客様に喜んでほしいので。ク【とても素敵ですね。大中さんならきっと実現できると思います! これからもアスサキ編集部みんなで応援しますね。試合に向けて、頑張ってください! 2月22日に行われた試合、大中さんは見事勝利しました! おめでとうございます。



interviewee

おなか けん ごと
大中 健吾さん

2022年10月にちとせ小町に介護職として入職。現在は4月オープンの特別養護老人ホーム三山園の業務支援を行う。キックボクシングのプロとしても活躍中。



vol.

11

2025.3
Spring

千歳会オリジナルメディア

アスサキ

TOPIC

千歳会をぐるっと交換留学! 第11回

「お客様一人ひとりのためのリハビリとは?」
機能訓練指導員の仕事を考える」

機能訓練指導員3人が集まり、実技も交え、仕事の姿勢を共有する交換留学となりました。

ちとせ・かわら版11号

左理事長が講師として登壇しました
移動スーパード始まりです!

多職種連携していこう! な 座談会

ケアマネージャー×管理栄養士×生活相談員が登場!



お馴染みの「左様」を一緒に作って、楽しくおしゃべり! (P2)



ケアハウスこまち墨田館が8周年を迎えました! (P3)



機能訓練について意見交換しました (P6-7)

C-1グランプリ 2025

科学未来館のステージで
伝える想いが介護の未来を創る!

エントリー
無料!

「C-1グランプリ」とは、現場で実施しているケアや介護の魅力を発信し、介護職員が主役となりより一層輝くための研究発表会です。介護のスタンダードを創造し、これからの日本を支える介護の起点をつくり上げていく場となっています。決勝大会のプレゼンテーションが行われます。ぜひご来場ください! 配信も予定しています。

日時 2025年5月24日 土 14:00~17:00

会場 未来館ホール(日本未来科学館)
〒135-0064 東京都江東区青木2-3-6

詳細は
こちらから



社会福祉法人千歳会 法人本部
特別養護老人ホーム ちとせ稲毛

〒263-0012 千葉県千葉市稲毛区萩台町50-1
Tel:043-445-7840 Fax:043-445-7832
info@1000.or.jp (法人本部)
info-image@1000.or.jp (ちとせ稲毛)

社会福祉法人千歳会 法人本部 分室

〒103-0002 東京都中央区日本橋馬喰町2-4-5-3F
Tel:03-6908-7777 Fax:03-5651-7667
info@1000.or.jp

特別養護老人ホーム ちとせ北本
居宅介護支援事業所 ちとせ北本

〒364-0001 埼玉県北本市深井3-25-1
Tel:048-579-5110 Fax:048-579-5114
info-kitamoto@1000.or.jp

特別養護老人ホーム ちとせ小町
デイサービスセンター ちとせ小町

〒285-0043 千葉県佐倉市大蛇町215-7
Tel:043-312-5111 Fax:043-312-5112
info-komachi@1000.or.jp

特別養護老人ホーム 三山園/デイサービスセンター 三山園

〒274-0072 千葉県船橋市三山2-3-2
Tel:047-476-2885 (特養・ショートステイ)
Tel:047-493-2208 (デイサービス)
Fax:047-474-3873 ※2025年4月1日より

ケアハウス ちとせ/訪問介護ステーション ちとせ
居宅介護支援センター ちとせ/デイサービスセンター ちとせ

〒285-0836 千葉県佐倉市生谷75-10
Tel:043-464-1577 Fax:043-460-5776
info-chitose@1000.or.jp

ケアハウス こまち墨田館

〒131-0045 東京都墨田区押上3-61-4
Tel:03-6657-5690 Fax:03-6657-5691
info-sumida@1000.or.jp

居宅介護支援センター みはま

〒261-0004 千葉県千葉市美浜区高洲4-1-9 郁栄ビル2F
Tel:043-307-4711 Fax:043-307-4712

小林専務理事の入院と現場復帰、社会福祉法人三山園が千歳会に仲間入り……。これまでをふりかえりながら、2025年、今後を見据えた対談をお送りします。



ひだり ひろまさ
左 敬真 理事長
沖縄に介護現場の視察に行き、20年待ちのシーサーを作るレジェンドに「シーサーを作ってください!」と直接お願いする。まさかのOKをもらい、運氣もますますアップの予感。

こばやし たける
小林 武尊 専務理事
昨年脳梗塞で入院し、半年間職務から離れていたこともあり、千歳会の組織をより俯瞰して見られるように、復帰後はマネジメントの役割を全うするため、採用や人材育成に力を入れる。

理事長(以下、左) 昨年は、小林にとっても大きな試練の年だったのでは？

専務(以下、小) 脳梗塞で入院し、リハビリを経て、職場に戻る事ができたのは、現場の皆の支えがあったからこそです。感謝しています。あとは、自分が病人としてケアされる側になって初めて、千歳会を利用してくださっているお客様の気持ちがよりリアルに感じられるようになりました。食の楽しみ、社会的接点をもつこと、そのための旅行……。本当に大切なサービスなんだと、身を持って実感しましたね。

左 それはよかった。来期もよろしく頼みます。

小 改めて、特別養護老人ホーム三山園が千歳会に加わることであった経緯をお話ください。

左 三山園は、千葉県船橋市、習志野市、八千代市、鎌ヶ谷市で構成された特別地方公共団体によって運営されてきました。

1972年に開園して以来、地域の拠り所となってきたと聞いています。移譲前は、千葉県内で唯一の公設・公営の特養施設ということでしたが、時代の変化とともに、行政として民間移譲を決断され、移譲先の法人を募った。

小 そこに千歳会が手を挙げた、ということですね。

左 我々の取り組みなどをご説明し、経営を立て直す法人として選定していただいた。歴史ある三山園のこれまでの文化を尊重しながらも、千歳会の理念「一人ひとりの人生を豊かに」するための介護を展開していきたい。経営面でも結果を出していきます。

小 三山園と僕らはともに手を取り合う仲間になったということ。「自分が受けた介護とは」という問いを投げかけ、新しいことにチャレンジできる環境を整えていきたいと思っています。

※取材は2月21日に行いました。

小林専務理事との対談の全編はこちら▶



理事長チャレンジ

理事長が現場職員たちのリクエストに応えるチャレンジ企画！

お題 お料理レクで特製「左焼き」にチャレンジ!(後編)

理事長特製「左焼き(お好み焼き)」を満喫し、おしゃべりに花を咲かせるメンバーたち。話題は「レクリエーション」。「お客様その人を表すような作品を作りたい」とは職員の声。「昔やっていたことや得意なことをやりたいわね」とお客様もおっしゃいます。レクリエーションは、達成感や自信につながる取り組みだと実感した理事長。今後は、お客様の作品や活動を発表する展覧会ができればいいですね! など、次々にアイデアが出ていました。



あぁ美味しかった。
次は何を作ってもらおうかしら〜!



ちとせ・かわら版 // 11号

左理事長が講師として登壇しました!

2月4日、左理事長が成田国際福祉専門学校にて開催された「介護セミナー」に、講師として登壇しました! 「介護セミナー」は、介護福祉を学ぶ学生や興味をもつ一般の方が参加し、介護福祉職のやりがいや働きやすい職場環境づくりについて



考え、発信していくことを目的に開催されました。左理事長は、学生を中心とした40名ほどの参加者に向け、「介護の可能性やその価値を発信していく意義」について熱く話していました。



移動スーパーが始まります!

千葉県佐倉市の「臼井・千代田地域包括支援センター」よりお声がけいただき、ケアハウスちとせにて「移動スーパー」が実施されることになりました。高齢などの理由での買い物が難しいの方のために、『スーパーマーケット KASUMI』が協力し、お肉や野菜、新鮮なお魚やお惣菜など約650品目を積んだ移動スーパーが、希望の場所までやってきて、買い物を楽しめるというサービス。ケアハウスちとせのお客様からもぜひ利用したい! とのお声があり、実施することとなりました。

初回は3月21日で、今後は定期的に実施していく予定です。「移動スーパー」の様子はまた次回号に掲載しますので楽しみに!

2月23日に、ケアハウスこまち墨田館が開設8周年を迎え、イベントを開催しました。館内をカラフルに飾りつけし、昼食は特別メニューをご提供。お刺身定食に茶碗蒸し、ヒレカツにコーヒゼリー付きです。とても豪華でいつもは少食なお客様も笑顔でたくさん召し上がっていただきました。その後はビンゴ大会でみなさん大盛り上がりでした! お客様と一緒にお祝いができたこと、素晴らしい時間を過ごすことができ、職員一同幸せな気持ちになりました。来年も、再来年もお祝いイベントしましょう〜!



墨田館が開設8周年を迎えました



千歳会をぐるっと 交換留学!

聞いたひと

さいとう ゆう
齋藤 雄さん

ちとせ稲毛の鍼灸師・マッサージ師。
2020年の入職以来、長く1人でリハ
ビリ業務を行ってきた。お客様への
丁寧な言葉づかいや対応を心がけ
ている。



聞いたひと

たかい
高井 かよさん

理学療法士。2024年、医療法人社
団敬徳会からの出向でちとせ稲毛
へ。その後、職員となる。お客様の楽
しみやできることを引き出すケアに
努めている。



今回はなんと、立候補でお二人が「聞いたひと」として参加!

機能訓練指導員3人が集まった交換留学は、実技あり、
仕事の姿勢ありの有意義なものになりました。

第11回

デイサービスセンター ちとせ ≪ 特別養護老人ホーム ちとせ稲毛

「お客様一人ひとりのためのリハビリとは?

機能訓練指導員の仕事を考える」 Text by Yu Saito

教えるひと

うえだ ともなり
上田 知成さん

理学療法士。2024年8月に敬徳
会からデイサービスセンターちとせ
へ出向し、機能訓練指導員として
お客様のリハビリにあたる。お客様
とのコミュニケーションを大切にし
ている。

機能訓練指導員とは?

介護保険法の定めによる、介護施設で利用者の機能訓練を行う
専門家のこと。理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、看護師、
柔道整復師、あん摩マッサージ指圧師、一定の実務経験を有する
鍼灸師など、国家資格を持った専門家が従事することができる。
今回登場したメンバーは、全員「機能訓練指導員」の資格がある。



▲デイサービスの様子。皆さんリラックスして過ごされていた。



▲こんな完成度の高い絵を描かれているお客様も。



▲絵を描いていたお客様、笑顔で対応をしてくださった。

デイサービスの日常



▲入浴を済ませたお客様、見ているこちらまで気持ちがさっぱりとする。

うかがったのは午前10時、お客様は
順番に入浴されていた。その待ち時間
になぞなぞや脳トレのプリントをやつ
たり、絵を描いている方もいらした。
午後2時から1時間、レクリエーション
の時間となり、ゲームや音楽セラピー、
イベントなどをやるそう。



▲デイサービスは終始、なごやかな雰囲気だった。

機能訓練を見せてもらう

この日の機能訓練指導員は上田さんを
含めて2名。お客様と積極的にコミュニ
ケーションをとっている。「肩が痛い」とい
うお客様には、座って肩のストレッチを。
「病院で何か言われたわけじゃないけれ
ど、ふらつきが気になる」というお客様に
は、歩行訓練を行っていた。
「全員にマシンを使えばいいかというと、
そうじゃない。体は人それぞれ違う。お客
様の要望を聞きながら、ケアマネやご家
族といった周辺情報もできる限り取り入
れて、機能訓練に取り入れていきたい」と
上田さんは言う。



▲お客様の痛みの様子を見ながら、肩の
ストレッチを入念に。



▲機能訓練に入る前には、念入りにお客
様とコミュニケーションを取っていた。



▲トレーニングマシンが充実している。
デイサービスとしての特色を出しているそう。



▲歩行のふらつきが気になるというお客
様。まずは、平行棒を使ってカン歩きをして
いただいていた。



▲歩行訓練の様子。脇を軽く支える
だけで、安心材料になる。歩行の
スピードも上がり、距離も歩ける。



▲色付きのポールに、「青・黄・青」
と指定の色の通りに歩くという、ダ
ブルタスクをこなす歩行訓練。



▲棒またぎ。筋力を落とさない、
持久力を上げるために行われて
いた。

機能訓練について意見交換

上田さんは、リハビリメインのデイケアからデイサービス
にやってきた。お客様の中には、リハビリを望んでいない方も
いらつしやることを理解し、押し付けにならないような機能
訓練を心がけていると言っていた。「その距離感が難しいん
ですけれどね」とも。よくなつてほしい気持ちにはもちろんある
が、「ご本人の考えを尊重することが一番大事である」と。
ちとせ稲毛では介護度は違えど、お客様との関わりを重
要視しているのは同じ。こちらから話しかけ、より気分転換
やいい刺激になるような機能訓練を行いたいと思った。同行
した高井さんも「メリハリのある生活を送るお手伝いをし
たい」と言っていた。

見学はデイサービスにとどまらず、同じ建物内にあるケ
アハウスもさせてもらった。なんとお昼ごはんまでごちそう
になり、大充実の交換留学となった。



▲なんと! 急遽、お昼ごはんを用意
していただいた。「厨房チームは、臨機
応変に対応できますから」とは、現場職
員の方の声。信頼関係ができています。



▲この日のメニュー。素晴らしく美味し
かった。ごちそうさまでした!



▲ケアハウスの見学も。立派なお雛様
が飾られていた。

デイサービスセンターちとせ information

所在地 | 〒285-0836 千葉県佐倉市生谷75-10
E-mail | info-chitose@1000.or.jp

TEL | 043-460-5775
WEB | https://1000.or.jp/facility/ds-chitose/



千歳会の日々

お題

食の楽しみ

全部で11の事業所がある千歳会。
今号は事業所のブログから、
「食べる喜びを諦めない！」という
法人の姿勢として、お楽しみのお
食事シーンをお届けします。

千葉 特別養護老人ホーム ちとせ小町



新年のお祝い🍷お屠蘇！

お客様にお屠蘇を振る舞い、一緒に新年をお祝いしました！ お屠蘇と言っても、ノンアルコールの日本酒です。お客様から「おいしい」というお声もいただきました。

千葉 デイサービスセンター ちとせ小町



手作り昼食★
ちらし寿司

恒例の調理レクでは、お客様と一緒に大きな寿司桶で22名分のちらし寿司を作りました！みなさん手際がよく、あっという間に色鮮やかなちらし寿司が完成しました😊

千葉 ケアハウス ちとせ・訪問介護ステーション ちとせ・居宅介護支援センター ちとせ



お餅つきを
開催しました🍡

お正月、みなさんと法被を着てお餅つき！「よいしよ」のかけ声で、美味しいお餅ができました。「からみ餅」「きな粉餅」「お汁粉」のお餅を提供しました。

千葉 デイサービスセンター ちとせ



バレンタイン♡
おやつレク

バレンタインイベントでクレープを作りました！生地から全部手作りで、バナナチョコをトッピング。厨房さんからチョコブラウニーも提供され、みなさまご満悦でした😊

千葉 特別養護老人ホーム ちとせ稲毛



お刺身が食べたい♪

イベント食として、お客様のリクエストにお応えし「お刺身」を提供しました！大変喜んでいただきました。今後もお客様の「食べたい」を叶えていきます！！

埼玉 特別養護老人ホーム ちとせ北本
居宅介護支援事業所 ちとせ北本



「ちとせもぐもぐ食堂」開催★

施設で「こども食堂」を初開催しました。北本名物の「トマトカレー」を70人前準備して提供しました。地域の方々にもたくさんお越しいただき好評でした😊

東京 ケアハウス こまち墨田館



チョコレートフォンデュ♪

2/14のバレンタインデーにチョコレートフォンデュをお客様と実施しました！自分で作る楽しさを感じていただき、おかわりの声が続出するほど大人気でした☆

東京 法人本部



食べる喜びを諦めない！

お客様がいつでもお食事を楽しんでいただけるよう、「介護旅行」ではその土地ならではの名物料理をお客様に召し上がっていただいています◎



各事業所では、
ブログを更新中！
こちらも合わせて
チェックを。



<https://1000.or.jp/blog/>

多職種連携していこう！な 座談会

——多職種連携の大切さを感じたエピソードがあれば、教えてください。

草薨 この3人が連携した、緊急の対応があります。在宅で認知症の症状が進み、目が離せない状態のお客様がいらして。転倒して受診した病院から「食事が十分に取れていない状態」という連絡も入りました。状況を把握するためにうかがったご自宅でも、住環境が十分に整っているとは言えない。すぐに、末原さんへショートステイ利用の打診をしました。

末原 普段は緊急の受け入れというのは多くないのですが、草薨さんからの切羽詰まった連絡によって、迅速にショートステイの受け入れをする必要性を感じました。草薨さんの熱い気持ちに後押しされたこともあります。現場のスタッフに申し送りをして連携し、できるだけ早く、お客様が安心できる環境を整えました。栄養面では、工藤さんにバトンタッチして。

工藤 そうですね。食事が落ちてしまっていて、普通食は半分くらいしか召し上がらない方でしたので、ゼリー状の栄養補助

食品を活用したり、食べやすいように食事形態を調整して対応しました。

——その際のご家族とのやりとりはどのように？

草薨 当初、ご家族はショートステイを利用することに反対されたんです。初めてのことだったから。ただ、私はご家族からもSOSが出ていると感じました。「疲れちゃった」とか「不安」という言葉から、限界が近いことをキャッチしました。ご家族にすこし休んでもらう、健康を保つためにもショートステイを利用していただくんだということをご説明しましたね。

逆に、ご自身の不安な気持ちを素直にこぼしてくれるご家族は少ない。ご本人とご家族の間の距離感を見ながら、お互いにととの最善策を探っています。

末原 前もって打ち合わせができる環境であれば、事前にお会いしたり、ご自宅に訪問したりできるのですが、今回は急を要するケースでしたので、それが叶いませんでした。継続利用されるなかで、ご家族とも顔を合わせることを意識しました。当初は不安な想いを抱えていらしたご家族も、送迎にうかがった際、玄関までお見送りに来てくださり、一言声をかけてくださるようになり。最初の頃と全然表情が違うんです。こういうときに、やりがいを感じますね。

工藤 私もお家族とお会いしたときに、ご自宅での食事は何を召し上がっているかを聞くようにしています。ご自宅では普通食の方でも、施設では誤嚥リスクを考えて食事形態を調整しました。管理栄養士だけでなく、介護スタッフや看護師と連携し、相談した結果であるという前提で、ご家族にも説明をしています。



▲今後受け入れるお客様について相談をする。

——多職種連携を円滑に進めるために、普段から意識していることは？

草薨 私一人の思いや考えを押し付けるのではなく、相手の立場を意識して話を聞くようにしています。ご本人やご家族、現場職員のみならず、行政の方との連携も重要です。さまざまな制度が提案できるよう、日頃から情報収集を心がけています。なるべく、いろんなところ顔を出して、まずは顔を覚えてもらうところからやっています。

末原 この3人が「昔から一緒に働いていたみたいに見える」と言ってもらえることがあります。それぞれの得意分野と役割分担が発揮され、必要な対応をスムーズにできたからこそ。草薨さんの熱い想いや工藤さんの細やかな配慮を知り、普段からのやりとりで信頼関係を深めることは大切だと思います。

工藤 最近では、介護老人保健施設のぞみや特別養護老人ホーム三山園の管理栄養士の方々と情報共有を行っています。「こっちの業者の方が安いですよ」など、食材の調達やコスト面での情報を教えてもらっています。

—— 本当の“最強チーム”ですね！ ありがとうございます。

工藤 綾佳さん

ちとせ稲毛の管理栄養士。
お客様の栄養管理を担当し、
個々の食事ニーズに応じた対応をする。

草薨 洋子さん

居宅介護支援センターみはまの主任
介護支援専門員。ケアマネージャーとして、
お客様の生活に寄りそい続けている。

末原 雅子さん

ちとせ稲毛の生活相談員。
ショートステイの受け入れなどを調整し、
現場スタッフとの橋渡しを担当する。



▲「栄養補助食を出してくれるショートステイは珍しい」とは草薨さん。工藤さんはお客様の状態に応じて、必要な食のプランを提案する。

写真：桑島圭佑